

PICC 2023 年度活動報告書

(2023 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日まで)



一般社団法人

公益資本主義推進協議会

Public Interest Capitalism Council

目次

1. 会長（代表理事）ご挨拶	P.02
2. 公益資本主義について	P.04
3. PICC について	P.04
・ PICC のビジョン	
・ PICC 団体概要	
4. 事業の概況について	P.07
・ 設立から体制づくり	
・ 2023 年のテーマと活動	
・ 2023 年度の業績概況	
5. 2023 年度 決算報告	P.09
・ 2023 年度 貸借対照表	
・ 2023 年度 正味財産増減計算書	
・ 財務諸表に関する注記	
6. PICC の委員会活動 会員による「公益資本主義」の実践	P.12
・ 数字で見る PICC の実践活動	
・ 100 年企業研究委員会	
・ 途上国支援委員会	
・ 地域活性化委員会	
・ 教育支援委員会	
・ 会員交流委員会	
7. その他の取り組みについてのご紹介	P.20
・ 第 8 回 PICC 優秀事例発表	
・ PICC 「王道経営」実践道場／全国定例会	
・ PICC ツアー	
・ メディアへのコラム提供	
・ マイコミュニティフォーラム	
・ U25 会員／準会員について	
8. 2024 年のテーマ	P.33
・ 2024 年 PICC テーマ	

1. 会長(代表理事)ご挨拶

日本経済は、直近では新型コロナウイルス感染拡大、ウクライナ侵攻の余波など大きく影響を受け停滞が続いておりますが、リーマンショック以降、大勢としては安定した経済成長が続いてきました。しかし、「実感が乏しい」好景気と言われる通り、日本人・日本企業からかつてのような元気も自信も感じられない状態が続いてきました。なぜでしょうか？

その最大の要因は、経済を支える企業が「米国型資本主義」に強く影響を受けて経営されているからであると、私は考えています。日本中の会社が違和感を覚えながらも「何よりも優先すべきは目標数字を達成することだ」「より短期間でより多くの利益を株主に還元することが企業価値である」という偏った価値観を持ち、「自分さえ良ければ」「今さえ良ければ」という考え方で経営判断を下しているのです。その結果として、黒字リストラ、粉飾決算、商品データの改ざん、談合、ブラック企業等、さまざまなかたちで社会を騒がせる存在となっています。企業は本来の存在意義を忘れてしまったのです。

また、アメリカを猛追する中国では「国家資本主義」が力を付けてきました。しかし、これもやはり「儲けるためならなりふり構わず」というスタンスが強まっており、これから大きな経済成長が期待される近隣諸国への影響を考慮すると、非常に強い危機感を抱いています。

では、企業の本来の存在意義とはどのようなものでしょうか。企業とは本来、社会の困りごとを解決するために存在しています。お客様から選んでいただけるよう、企業はより良い商品・サービスを提供するために努力し、その結果として収益を得ることができるのです。その中から社員へは給与というかたちで、株主へは配当というかたちで利益の一部を分配します。あわせて、企業の事業活動は取引先や仕入れ先の収益にも寄与するものであり、また社員の雇用や納税を通じて地域社会や国の維持・発展にも貢献しているのです。

このように、企業は経済を支える「社会の公器」と言える存在です。すなわち、企業は「社員」のものであり、「顧客」のものであり、そして「株主」のものであり、「取引先」のものであり、「地域」のものなのです。日本では古来、こうした考えを根底に持ち商売が行われていました。

「三方よし」「和を以って貴しとなす」「吾唯足知」、古くから日本に根付くこのような企業の在り方にもう一度、しっかりと目を向けていくことが、今の時代だからこそ必要であると確信しています。

これから世界経済の中心となるべきは、米国型の株主資本主義でも中国型の国家資本主義でもありません。社会全体の利益を考える資本主義、日本型の「公益資本主義」です。

私はこうした考えを日本中に、そして世界中に拡げ、変えていくため「公益資本主義推進協議会（以下「PICC」と呼ぶ）」という組織を作りました。

PICC では、「限界が見えてきた現資本主義に成り変わる、新しい日本発の資本主義＝公益資本主義を世界に発信し、地球益に貢献する」をビジョンに掲げ、諸外国から真に尊敬される日本づくりの実現に向けて様々な活動に取り組んでいます。一つの活動は大きな影響力はないかもしれませんが、しかし、このPICC を、公益資本主義について学ぶ場、実践する場、そして発信する場として全国に広めていくことによって、必ずどこかで世の中を変えるためのきっかけをつくることができると信じ、活動を続けています。

この趣旨に賛同していただける皆様、ぜひ本協議会にご参加いただき、一緒に新しい資本主義の在り方を考えていきましょう。そしてこの「公益資本主義」を、広く世界に発信していきましょう。ご協力よろしくお願いいたします。

以上



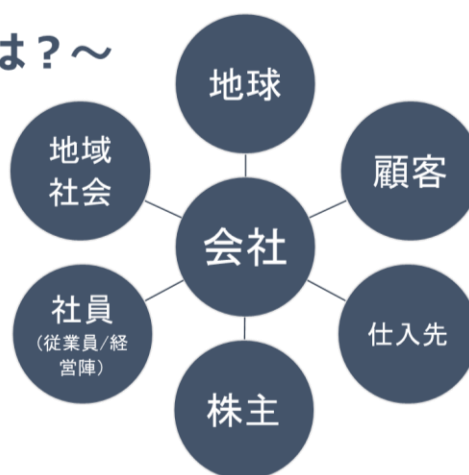
会長（代表理事） **大久保秀夫**

2. 公益資本主義について

PICCの最高顧問である原丈人氏は著書『「公益」資本主義 英米型資本主義の終焉』（文春新書）の中で、公益資本主義について「企業の事業を通じて、その企業に関係する経営者、従業員、仕入先、顧客、株主、地域社会、環境、そして地球全体に貢献する」ような企業や資本主義の在り方と定義しています。

**会社は誰のものか？
企業は社会の公器である。**

社中（Company）とは？～



「公益」と言うと利益を追求するのが悪いことのように思われるかもしれませんが、そうではありません。その逆です。企業を支えるすべての関係者に貢献するためには、大いに稼ぎ、持続的に発展していく必要があります。

3. PICCについて

一般社団法人公益資本主義推進協議会＝PICC（Public Interest Capitalism Council）とは、公益資本主義を全国に広め、世の中を変えるためのきっかけをつくる活動を推進する協議会です。

公益資本主義の考えに沿った正しい企業の在り方＝「王道経営」を学び、それを実際の事業活動の中で実践することで社業を伸ばし、その有用性について実証していくこと、そして、公益資本主義に賛同する企業経営者を数多く育成・輩出していくことをミッションとしています。

PICCのビジョン

限界が見えてきた現資本主義に成り変わる、
新しい日本発の資本主義＝公益資本主義を
世界に発信し、地球益に貢献する。

そのため、PICC 会員企業がいますべきことは、

魂の決断で**社会性**をベースとした会社・事業を創出し、

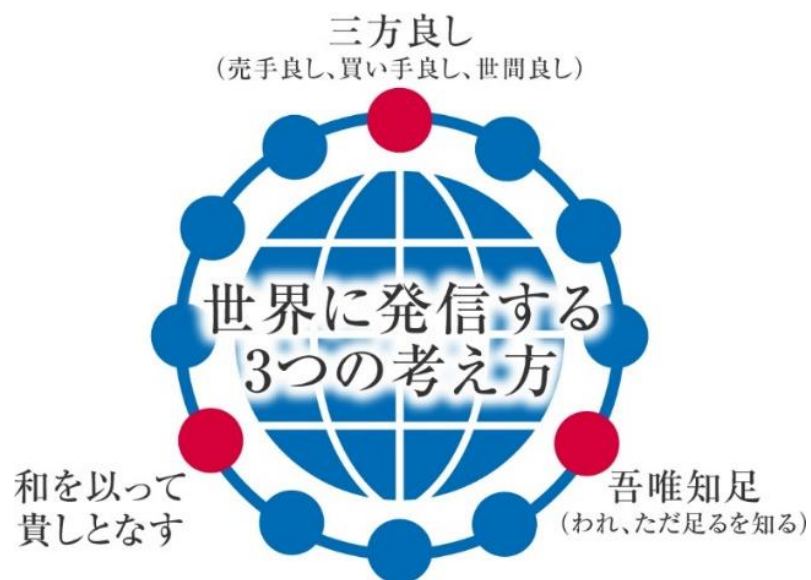
独自性のあるビジネスモデルに昇華させる。

同時に、**経済性**も成り立つよう**改良改善**に挑戦する。

その結果生まれた利益は、社員とその家族、取引先、顧客、地域社会、

株主、つまり社中全体に**公平に分配**していくことで共存共栄を

果たし、**永年続く**企業となることを目指す。



PICC 団体概要

名称： 一般社団法人公益資本主義推進協議会
設立： 2014年（平成26年）1月27日
所在地： 東京都渋谷区神宮前五丁目52番2号
目的等： 諸外国から真に尊敬される日本づくりの実現に向けての活動
会員数： 235名（2023年12月末、正会員181社、U25会員49名、
準会員4名、特別会員1名） ※失効や休会は除いています
支部等： 東京支部／愛知支部／福岡支部／福島支部設立準備委員会／栃木支
部設立準備委員会／広島支部設立準備委員会
役員： 最高顧問 原 丈人
会長（代表理事） 大久保 秀夫
副会長（理事） 田中 勇一
理事 前川 洋一郎
理事 北見 俊則
理事 大塚 雅之
理事 飯田 剛也
監事 佐藤 栄作
相談役 川原 正孝
相談役 林 英臣
相談役 寺田 耕治

4. 事業の概況について

設立から体制づくり

PICC は、公益資本主義を实践し、浸透させることで諸外国から真に尊敬される日本づくりを目指して活動しています。2014 年の設立当初は、会長である大久保秀夫を中心に日本全国を回り、次世代を担う若手経営者に向けて、現在の資本主義の問題点、企業の本来の在り方、人としての在り方、PICC の目指すこと等について啓発活動を中心に取り組んでまいりました。この結果、全国で PICC のビジョンに賛同する企業に入会していただき、組織の基盤をつくることができました。

会員数が一定数を越えた地域に支部を設立し、各地域で具体的活動を展開できる組織作りを行いました。現在は、東京・愛知・福岡に支部が設置されています。また、福島・栃木・広島には支部設立準備委員会が立ち上げられ、次の支部化に向けて組織づくりや新規会員獲得に取り組んでいます。

- ✓ 東京支部
- ✓ 愛知支部
- ✓ 福岡支部
- ✓ 福島支部設立準備委員会
- ✓ 栃木支部設立準備委員会
- ✓ 広島支部設立準備委員会



各支部には「100 年企業研究委員会」「教育支援委員会」「途上国支援委員会」「地域活性化委員会」「会員交流委員会」の 5 つの委員会が立ち上げられ、公益資本主義を学び、それを実践するための具体的活動に取り組んでいます。しかし、支部ごとに人員数や活動テーマが異なるため、その進捗にはばらつきがある状況です。

2023年のテーマと活動

2023 年度も前年度に続いて「王道経営を学び、実践する、いい会社を増やす」を最上位目的に掲げ、①会員企業は王道経営を实践し、事例発表で全体に共有する、②会員が支部を越えて交流できる機会や仕組みづくりを推進する、③新たな会員を増やすための方策を検討する、以上 3 点を重点課題として取り組んでまいりました。

PICC 活動も、会員の想いも、方向性を本業強化＝王道経営に集約するべく、まず PICC 会員自身が「王道経営」を学ぶための環境づくりに注力し、大久保会長自ら講師を務める「王道経営実践道場」や全国の会員が参加できる「PICC 全国定例会」をオンラインで開催しました。また、時間が合わず講義に参加できなかった会員、今後

入会してくる会員、振り返って確認したい会員等、より多くの方が、それぞれ都合のいいタイミングで再学習できるよう、講義動画や資料をアーカイブで確認できるよう環境整備にも取り組みました。

一方、リアルでなければ学べないこともあるため、さまざまな現場・現物・現実を確認することで、人としての在り方や未来について深く考えるための場として、「PICC ツアー」も開催しています。

こうした活動の結果、正会員については13社が新規入会しました。ただし、社業多忙等による退会が19社、会費未納による失効が11社あるため、有効な正会員数は年初の198社から181社（失効や休会を含めると215社）へと減少しています。今後は当会の強みである学びについて更なる充実を図ると同時に、カリキュラムの見える化を行い、会の魅力についてPRを強化し、会員数を増やしていけるよう取り組んでまいります。また、マイコミュニティフォーラム等で知り合った若者を対象としたU25会員は新規で9名増えたものの、25歳を迎えて卒業した者が28名いたため、トータルで49名になっています。なお、卒業者のうち4名は新たに設けた準会員へと移行しています。

2023年度の業績概況

このような活動を行った結果、今年度の業績は次の通りとなりました。

経常収益は前期に比べ497万円減少し1,649万円。主な収益は、支部所属会員を対象としている月会費（1万円/月）とその他の地域の会員を対象としている年会費（3万円/年）です。会員数の減少およびイベントに対する補助金支給期間が終了したこと、また一部のイベント収益の管理を新たな地域プロジェクトへと移管したこと等により、昨年と比べて減収となりました。

経常費用については、コロナ禍の影響が小さくなったため事業費、管理費共に前期より増えたものの、222万円の利益となりました（前期は902万円の利益）。会費の一部は、各支部会員が自主的かつ組織的に、本会主旨の活動を展開していくための支部活動費として活用されています。また本部においても、会員や支部会計を管理するためのシステム整備・運用、PRやイベント開催等の財源としています。前年度と比べて広報費等が増えたものの、オンラインでの活動割合が増えたことが影響し、旅費交通費、会場費を中心に、支部・本部共に経費支出が抑えられました。

5. 2023年度 決算報告

貸借対照表

2023年12月31日現在

単位：円（税込）

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	30,233,725	27,405,062	2,828,663
小口(福岡支部)	101,081	36,247	64,834
マイコ小口(愛知)	0	5,566	-5,566
小口(福島準備委員会)	40,779	10,450	30,329
普通預金(本部)	23,295,887	20,736,725	2,559,162
ネット預金(本部)	49,004	49,004	0
普通預金(東京支部)	1,506,797	1,159,024	347,773
普通預金(愛知支部)	1,658,298	1,504,843	153,455
普通(福岡支部)	3,093,205	2,817,859	275,346
愛知支部マイコ	47,950	763,813	-715,863
普通預金(福島準備委員会)	440,724	321,531	119,193
未収会費	754,667	784,020	-29,353
未収金	0	27,000	-27,000
前払金	33,000	27,500	5,500
貯蔵品	988,000	18,000	970,000
前払費用	218,560	190,894	27,666
仮払金	15,180	590,000	-574,820
流動資産合計	32,243,132	29,042,476	3,200,656
資産合計	32,243,132	29,042,476	3,200,656
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,350,217	300,818	1,049,399
預り金	23,483	24,852	-1,369
流動負債合計	1,373,700	325,670	1,048,030
負債合計	1,373,700	325,670	1,048,030
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	30,869,432	28,716,806	2,152,626
正味財産合計	30,869,432	28,716,806	2,152,626
負債及び正味財産合計	32,243,132	29,042,476	3,200,656

正味財産増減計算書

2023年 1月 1日から2023年12月31日まで

単位：円（税込）

科 目	本部		支部		合計	
	当年度	増 減	当年度	増 減	当年度	増 減
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
受取入会金	163,000	-116,000	0	0	163,000	-116,000
正会員入会金	130,000	-140,000	0	0	130,000	-140,000
U25入会金	33,000	24,000	0	0	33,000	24,000
受取会費	13,279,000	-2,464,000	0	0	13,279,000	-2,464,000
正会員年会費	2,907,500	-650,000	0	0	2,907,500	-650,000
正会員月会費	10,322,500	-1,863,000	0	0	10,322,500	-1,863,000
準会員年会費	49,000	49,000	0	0	49,000	49,000
内部振替支部活動費収入	-3,809,569	-1,824,844	3,809,569	1,824,844	0	0
内部振替支部活動費収入	-3,809,569	-1,824,844	3,809,569	1,824,844	0	0
事業収益	746,300	301,300	2,093,755	-1,679,568	2,840,055	-1,378,268
講演会等研修収益	0	0	524,603	-194,738	524,603	-194,738
イベント収益	746,300	301,300	1,569,152	-1,484,830	2,315,452	-1,183,530
受取補助金等	0	0	0	-1,183,000	0	-1,183,000
受取地方補助金	0	0	0	-1,183,000	0	-1,183,000
雑収益	132,230	122,101	79,054	48,902	211,284	171,003
受取利息	176	57	54	2	230	59
雑収益	132,054	122,044	79,000	48,900	211,054	170,944
経常収益計	10,510,961	-3,981,443	5,982,378	-988,822	16,493,339	-4,970,265
(2) 経常費用						
事業費	4,046,614	1,813,475	5,874,193	-1,016,528	9,920,807	796,947
諸謝金	363,411	283,411	270,080	-247,411	633,491	36,000
旅費交通費	979,303	656,697	84,375	-202,750	1,063,678	453,947
消耗品費	136,411	-64,405	6,665	-32,290	143,076	-96,695
通信運搬費	51,190	-158,956	33,050	20,994	84,240	-137,962
システム管理費	662,424	-5,496	30,000	-248,050	692,424	-253,546
渉外費	0	-10,000	45,947	-84,774	45,947	-94,774
会議費	339,890	313,316	385,579	16,372	725,469	329,688
広報費	525,033	525,033	1,429,300	503,630	1,954,333	1,028,663
会場費	0	-77,704	1,426,318	-966,772	1,426,318	-1,044,476
開催費	590,666	367,366	1,137,297	-303,275	1,727,963	64,091
支払手数料	398,286	-15,787	14,226	-43,478	412,512	-59,265
支払保険料	0	0	51,780	1,870	51,780	1,870
業務委託費	0	0	840,000	480,000	840,000	480,000
支払寄附金	0	0	46,000	15,830	46,000	15,830
租税公課	0	0	2,300	2,300	2,300	2,300
雑費	0	0	71,276	71,276	71,276	71,276
管理費	4,349,906	1,035,014	0	0	4,349,906	1,035,014
支払報酬	22,000	-5,500	0	0	22,000	-5,500
諸謝金	40,000	-60,000	0	0	40,000	-60,000
旅費交通費	80,860	-350,376	0	0	80,860	-350,376
消耗品費	15,207	-91,784	0	0	15,207	-91,784
通信運搬費	520	-2,018	0	0	520	-2,018
システム管理費	926,540	36,729	0	0	926,540	36,729
渉外費	203,345	89,241	0	0	203,345	89,241
会議費	38,824	3,812	0	0	38,824	3,812
広報費	1,876,981	841,650	0	0	1,876,981	841,650
会場費	696,412	537,892	0	0	696,412	537,892
支払手数料	12,287	5,038	0	0	12,287	5,038
租税公課	30,600	20,000	0	0	30,600	20,000
顧問料	396,000	0	0	0	396,000	0
雑費	10,330	10,330	0	0	10,330	10,330
経常費用計	8,396,520	2,848,489	5,874,193	-1,016,528	14,270,713	1,831,961
評価損益等調整前当期経常増減額	2,114,441	-6,829,932	108,185	27,706	2,222,626	-6,802,226
評価損益等計	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	2,114,441	-6,829,932	108,185	27,706	2,222,626	-6,802,226
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0
内部振替額	0	25,962	0	-25,962	0	0
内部振替額	0	0	0	-25,962	0	-25,962
内部振替支出	0	-25,962	0	0	0	-25,962
税引前当期一般正味財産増減額	2,114,441	-6,803,970	108,185	1,744	2,222,626	-6,802,226
法人税	70,000	0	0	0	70,000	0
当期一般正味財産増減額	2,044,441	-6,803,970	108,185	1,744	2,152,626	-6,802,226
一般正味財産期首残高	18,673,384	8,848,411	10,043,422	106,441	28,716,806	8,954,852
一般正味財産期末残高	20,717,825	2,044,441	10,151,607	108,185	30,869,432	2,152,626
II 指定正味財産増減の部		10				
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	20,717,825	2,044,441	10,151,607	108,185	30,869,432	2,152,626

財務諸表に関する注記

1. 重要な会計方針
公益法人会計を適用しております。
 - (1) 棚卸資産の評価基準および評価方法
棚卸資産はございません。
 - (2) 固定資産の減価償却の方法
固定資産はございません。
 - (3) 引当金の計上基準
引当金はございません。
 - (4) 消費税等の会計処理
税込方式によっております。
2. 特定資産の増減額およびその残額、財源等の内訳
特定資産はございません。
3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高
固定資産はございません。
4. 実施事業等会計にかかわる資産
実施事業等会計にかかわる資産はございません。
5. 重要な後発事象
ございません。

付属明細書

1. 特定資産の明細
財務諸表の注記に関する記載の通りです。
2. 引当金の明細
財務諸表の注記に関する記載の通りです。

6. PICCの委員会活動 会員による「公益資本主義」の実践

PICC 各支部では、「100年企業研究委員会」「教育支援委員会」「途上国支援委員会」「地域活性化委員会」「会員交流委員会」の5つの委員会が立ち上げられ、さまざまな活動に取り組んでいます。

数字で見るPICCの実践活動

PICC では全国の支部・会員企業が、さまざまな活動に取り組んでいます。一つひとつの活動は小さいかもしれませんが、積み重ねることによって何か世の中を変えるための一助につながっていくと信じております。2023年度、全国支部やPICC全体で取り組んだ活動を集計し、数字でご紹介いたします。

100年企業研究

- ・企業訪問 9社
- ・冊子発刊 1回



出前授業

- ・開催校 33校
- ・人数 2,611名



MYCO フォーラム

- ・2都市 2回
- ・参加人数 700名



途上国支援

- ・ミーティング等



地域活性

- ・イベント 16回
- ・勉強会 3回



支部活動

- ・定例会 6都市 66回
- ・勉強会 6都市 106回
- ・若者支援 3都市 53回

全国会議・勉強会

- ・支部長会議 10回
- ・全国定例会 5回



メディア掲載

- ・11媒体 86回



100年企業研究委員会

世界で最も多くの100年企業が存在する日本。これらの企業から経営の本質を学び、自らの経営に取り込むとともに、日本の経営の在り方を広く推奨していく委員会です。100年企業の視察や、経営者をお招きした勉強会などを行っています。

- 書物や講義を活用した研究
- 実際の100年企業への訪問
- 会員企業の100年ビジョンづくり



主な活動実績

実施日	地域	概要
2023/1/26	東京	100年企業研究委員会サイトに前川洋一郎理事のインタビューレポートを公開
2023/3/7	東京	100年企業訪問 株式会社香十天薫堂
2023/6/29	本部	大塚理事企画 「いい会社ツアー」 宮坂醸造、菓匠 Shimizu、伊那食品工業
2023/8/2	東京	100年企業訪問 龍名館
2023/8/7	東京	100年企業訪問 マテックス
2023/8/18	東京	100年企業訪問 カネダ
2023/10/10	東京	100年企業訪問 株式会社岡永
2023/11/7	東京	100年企業訪問 マルアイ
2023/12/04	東京	100年企業研究委員会サイトに全国100企業研究委員長座談会レポートを公開
2023/12/04	東京	100年企業研究委員会サイトに大久保秀夫会長のインタビューレポートを公開
2023/12/04	東京	100年企業研究委員会サイトに大久保秀夫会長のコラムを公開
2023/12/20	東京	100年企業委員会 冊子発刊

途上国支援委員会

国の基本は教育です。経済や文化の領域で将来のパートナーとなる途上国に対して、教育や自立支援をサポートしています。教師団の派遣や幼小中高一貫校設立などに取り組む CIESF と連携し、途上国支援の在り方を学び、実践します。

- 途上国支援
- 途上国進出の検討／実施
- 留学生受け入れ
- 他の途上国支援団体の研究／協力
- CRM 手法の研究／実践



地域活性化委員会

日本創生の原点となる地域振興。さまざまな分野から地域の活性化を研究・実践する委員会です。地域活性化に取り組む他団体との連携も含め、公益資本主義の考えを活かしながら各地域にマッチした地域活性化に挑戦しています。



- 地域課題や他地域における活性化事例の研究
- 地域活性化に取り組む団体との連携
- 地域活性学会との連携
- 地域の学生／企業／自治体／学校等との連携
- 地域活性化のための企画／実行

主な活動実績

実施日	地域	概要
2023/1/16	福島	リポートジャパン（事業再生支援）活動
2023/1/27	福島	定例会・ぼくらの学校（講師：相澤俊一 氏、伊藤潤一 氏）
2023/2/24	福島	定例会・ぼくらの学校（講師：埴啓之 氏、吉田雅彦 氏）
2023/3/15	福島	FSG カレッジリーグの国際ビジネス公務員大学校へ訪問
2023/3/24	福島	定例会・ぼくらの学校（講師：片山純 氏、吉田真 氏）
2023/4/28	福島	定例会・ぼくらの学校（講師：佐藤康則 氏、大久保秀夫 会長）
2023/5/8	広島	勉強会「アジア・環太平洋地域の災害と緊急支援」 （公益社団法人 Civic Force 代表理事 根木佳織 氏）
2023/5/15	広島	勉強会「世界に通用する日本一のアントレプレナー2015」 （株式会社アスカネット 創業者 福田幸雄 氏）
2023/5/28	福島	みんなの定例会（講師：株式会社ナプロアース 社長 池本篤 氏）
2023/6/7	福島	国際ビジネス公務員大学校先生との交流会
2023/6/23	福島	みんなの定例会（講師：株式会社耕せにっぼん 代表 東野昭彦 氏）
2023/7/27	福島	定例会・みんなの定例会 （講師：ランドマークホールディングス 取締役会長 藤原賢一 氏）
2023/8/18	福島	ぼくらの音楽祭懇親 BBQ（国際ビジネス公務員大学校）
2023/8/25	福島	定例会・みんなのプレスト
2023/9/22	福島	みんなの定例会（講師：PICC 理事 北見俊則 氏）
2023/10/24	東京	定例会 徳島自治体とのコラボイベント
2023/10/24	広島	地域活性化委員会勉強会「過疎地域の課題」
2023/10/27	福島	みんなの定例会（講師：幸益資本主義 栗原志巧 氏）
2023/11/24	福島	みんなの定例会「財務について」 （講師：株式会社ばるる 代表取締役 佐藤康則 氏）

2023/12/22 福島 みんなの定例会「政治と経済について」

(講師：株式会社ばるる 代表取締役 佐藤康則 氏)

※ 上記の他、支部によってマイコミュニティフォーラムや地域イベントの企画・運営について取り組んでいます。

教育支援委員会

子供は未来の財産です。学力の低下に加え、夢や希望が持てない日本の子ども達に経営者からの視点で教育を推進する委員会です。教育と子育ては地域ぐるみで行うことと考え、「出前授業」などの活動を積極的に展開しています。「働くとはどういうことか?」「社会における企業の役割」「志や目標を持つことの大切さ」等をテーマに、企業経営者が自身の経験や想いを直接伝えることで、これから社会に出てゆく子供たちに働くことの意味や将来の夢を考えるきっかけを作ることが狙いです。2023年は延べ33校、2,611名の学生に向け、出前授業を行っています。



- 出前授業の実施
- 職場体験の受け入れ
- マイコミュニティフォーラムで知り合った学生への教育
- 新たな教育支援手法（オンライン出前授業 等）の研究

主な活動実績

実施日	地域	概要
2023/1/19	福岡	出前授業 佐賀市立鍋島中学校 2年生
2023/1/19	福岡	4 地域連携 キャリア教育交流授業（沖縄県今帰仁村立兼次小学校 4年生、佐賀市立川副中学校 1年生、福井市美山中学校 1年生、宮城県名取市立関上小中学校 8年生）
2023/1/23	東京	出前授業 横浜市立南戸塚中学校 2年生
2023/1/24	東京	出前授業 自由が丘学園高等学園 2年生 「地域貢献事業についての発表」
2023/2/1	東京	出前授業 自由が丘学園高等学園 2年生 「地域貢献事業についての発表」
2023/2/2	福岡	出前授業 佐賀市立城東中学校 1年生
2023/2/9	東京	出前授業 自由が丘学園高等学園 2年生 「地域貢献事業についての発表」
2023/2/16	東京	出前授業 東京都立王子総合高等学校 2年生 「地方創生」
2023/2/20	東京	出前授業 自由が丘学園高等学園 2年生 「地域貢献事業についての発表」
2023/3/2	東京	出前授業 東京女子学園高等学校 2年生 「英語の身につけ方と Q&A」
2023/3/7	東京	出前授業 自由が丘学園高等学園 2年生

		「地域活性化事業についての事例とその目的」
2023/3/8	東京	出前授業 自由が丘学園高等学園 2 年生 「居住マーケットから見る地方創生事業について」
2023/5/8	東京	出前授業 東京家政学院高等学校 3 年生「働く事とは」
2023/5/31	福岡	出前授業 宮城県石巻市立桜坂高等学校 2 年生
2023/6/7	福岡	出前授業 私立筑陽学園中学校
2023/6/26	東京	出前授業 東京都市大学附属中学校 3 年生「仕事とは何か？働くとは何か？」
2023/6/27	東京	出前授業 常陸大宮市立大宮中学校 2 年生 「経営者が語る。働く意味、今学校に行く理由とは？」
2023/7/5	福岡	出前授業 福岡市立席田中学校 2 年生
2023/7/21	愛知	出前授業 愛知県立一宮起工科高等学校
2023/7/26	愛知	出前授業 愛知県立愛知総合工科高等学校
2023/8/23	福岡	出前授業 佐賀市立鍋島中学校 1 年生
2023/9/13	東京	出前授業 東京都立多摩工科高等学校 3 年生
2023/9/15	東京	出前授業 奈良県大和郡山私立片桐中学校 1 年生
2023/10/5	福島	出前授業 私立羽黒高等学校 2 年生
2023/10/13	福岡	出前授業 福岡市立博多高等学園 2 年生
2023/10/24	愛知	出前授業 私立黄柳野高等学校
2023/10/26	東京	出前授業 神奈川工科大学 2 年生
2023/10/31	東京	出前授業 青梅市立泉中学校 2 年生
2023/10/31	東京	出前授業 海老名市立杉本小学校 6 年生
2023/11/8	東京	出前授業 東京都立第五商業高等学校 3 年生

会員交流委員会

会員活動の基盤となる公益資本主義。その考え方を学び、経営者本来のあり方を身につける「在り方」勉強会の普及を図る委員会です。また、各支部定例会を通じて会員相互の交流（親睦・ビジネス）を促すとともに、全国各地の支部との交流会も開催しています。

- ・公益資本主義の学び
- ・「在り方」「やり方」勉強会
- ・魅力ある定例会の企画／運営
- ・新規会員の勧誘／教育
- ・会員企業の魅力発掘／発信
- ・会員交流



主な活動実績

実施日	地域	概要
2023/1/11	福島	中井さんを偲ぶ会
2023/1/16	東京	優秀事例報告動画撮影会
2023/1/17	東京	定例会「This is Terra Renaissance」「テラ・ルネッサンスの現在とこれから」 (認定 NPO 法人テラ・ルネッサンス創設者 鬼丸昌也 氏)
2023/1/20	東京	優秀事例報告動画撮影会
2023/1/23	愛知	MYCO 東海学生 AWARD 第 6 期発足
2023/1/23	福岡	役員会・定例会
2023/1/24	広島	定例会
2023/1/27	愛知	定例会・長坂養蜂場視察
2023/2/21	本部	PICC「王道経営実践道場」⑥改善性
2023/2/21	東京	定例会「3000 円経営者アポ獲得サービス” Sales With”」 (株式会社 Repro Accompany 代表取締役 西里将志 氏)
2023/2/27	愛知	定例会 「優秀事例発表会 事前発表会」他
2023/2/27	福岡	役員会・定例会「『副腎疲労症候群』について」 (株式会社 Link Function Project 代表取締役 坪井望 氏)
2023/3/17	福島	PICC 大阪遠征
2023/3/25	広島	定例会
2023/3/27	福岡	役員会
2023/3/29	福岡	お花見懇親会
2023/4/1	福岡	福岡大学ベンチャー起業論向け「リーダーシップ研修」(飯田剛也 支部長)
2023/4/8	福岡	ビジネスモデルキャンバス
2023/4/10	広島	定例会
2023/4/10	本部	PICC「王道経営実践道場」⑦魂の決断
2023/4/18	東京	定例会 AI 勉強会(株式会社 FIS ソリューションズ 代表取締役 山口勝宏 氏)
2023/4/24	福岡	役員会・定例会「英会話ミニセミナー」 (イングリッシュ・ドクター 西澤ロイ 氏)
2023/4/26	愛知	定例会
2023/5/17	福岡	東京支部会員来福の懇親会
2023/5/18	愛知	定例会
2023/5/23	東京	定例会「SDGs 事業・海外支援・社会貢献で『(最大) 2 億円の補助金』に チャレンジする方法！」
2023/5/25	福島	管理会計勉強(会管理会計実践サポート株式会社 代表 関洋一 氏)
2023/5/27	広島	広島・福岡合同定例会「経営とスポーツマインド」 (松原建設株式会社 代表取締役 松原吉宏 氏)
2023/5/30	本部	PICC 新入会員研修会
2023/6/12	広島	定例会
2023/6/14	福島	株式会社ナプロアース訪問

2023/6/20	東京	定例会「片づけは仕事のパフォーマンスを最大化する」 (株式会社 Homeport 代表取締役 西崎彩智 氏)
2023/6/20	本部	PICC 全国定例会「経営者は教育者たれ」
2023/6/26	愛知	定例会「企業のグローバル成長と社会貢献」 (興亜商事株式会社 代表取締役 奥村雄介 氏)
2023/6/26	福岡	役員会・定例会「インボイス制度について」 (アップスマイル税理士法人 代表社員 辻本聡 氏)
2023/6/29	本部	大塚理事企画「いい会社ツアー」 宮坂醸造、菓匠 Shimizu、伊那食品工業
2023/7/18	福島	PICC 支部長会議 in 福島
2023/7/19	福島	会員交流ゴルフコンペ
2023/7/20	愛知	定例会「高卒新卒採用成功への道」 (一般社団法人アスバシ 代表理事 毛受芳高 氏)
2023/7/24	東京	暑気払い懇親会
2023/7/29	福岡	定例会「ふるさと納税出店ビジネス」(山口洋 副支部長)
2023/8/21	愛知	定例会「イチからはじめる ChatGPT 連続講座」 (株式会社 Cueplant CTO 鈴木悠輝 氏)
2023/8/22	東京	定例会
2023/8/28	福岡	役員会・定例会「財務セミナー」(飯田剛也 支部長)
2023/8/31	広島	定例会
2023/9/14	愛知	定例会「イチからはじめる ChatGPT 連続講座」 (株式会社 Cueplant CTO 鈴木悠輝 氏)
2023/9/19	広島	定例会
2023/9/19	東京	定例会「今後の女性活躍支援のために、女性管理職 18 年の現場から伝えられること」(いくみ@女性管理職&ブロガー)
2023/9/19	広島	定例会
2023/9/22	東京	会員交流委員会 キリンビール横浜工場見学会
2023/9/22	福島	みんなの定例会(講師:PICC 理事 北見俊則 氏)
2023/9/25	福岡	役員会・定例会(U25 会員主催)
2023/9/26	東京	会員交流委員会 八重洲の三階食事会
2023/10/5	福島	会員交流委員会 快筋堂訪問
2023/10/13	福島	僕らの音楽祭 打ち上げ
2023/10/24	東京	定例会 徳島自治体とのコラボイベント
2023/10/28	福岡	合同定例会『インボイス制度開始!! 影響と対応策を再確認』 (講師:トリプルスマイル(株)、アップスマイル税理士法人 代表 辻本聡 氏)
2023/11/7	愛知	定例会 いい会社訪問・東海カッター
2023/11/20	福岡	役員会・定例総会
2023/11/21	東京	定例会 「女子ラクロス 【NeO LACROSS Club】について」 (合同会社 PUISTO CEO 橋本南美 氏)
2023/11/22	本部	大久保会長勉強会「トップリーダーの人間性がチームを良い方向に導く」

2023/11/28	広島	定例会
2023/12/9	福岡	役員会・忘年会
2023/12/13	愛知	故・寺田さんを偲ぶ会
2023/12/19	本部	PICC 全国定例会「これから対応すべき環境変化」
2023/12/19	東京	定例会「テラ・ルネッサンス活動報告会 ー創業以来最大危機を乗り越えてー」 (認定 NPO 法人テラ・ルネッサンス創設者 鬼丸昌也 氏)
2023/12/22	愛知	定例会・忘年会

※ 上記の他、本部では支部長会議を、各支部では定例会や「在り方」「やり方」勉強会・懇親会を定期的に開催しています。

7. その他の取り組みについてのご紹介

第8回 PICC優秀事例発表会

2024年3月12日、一般社団法人公益資本主義推進協議会(PICC)は社員総会・優秀事例発表会を開催し、リアル52名、Zoomで9名の方に参加いただきました。冒頭の社員総会では、議案として上程していた2023年度決算、役員選任、定款変更は原案どおり承認可決されています。

議事後には、会長である大久保秀夫から「次世代のリーダーに求められること」というタイトルで講話がありました。時代の変化が大きい昨今だからこそ、会社を率いるリーダーとして本当に大切にすべきこと、また人として目を向けるべき本質について、大久保会長の経験や事例を交えながら共有していただきました。

講演後は、8回目となるPICC優秀事例発表会を開催し、全国から選抜された5名の会員による活動事例のプレゼンテーションが行われました。

【優秀事例を発表いただいた会員の皆様】

1. 公益資本主義の実践部門
大阪・矢野 浩一 さま (クジラ株式会社)
2. PICC プレゼン部門
東京支部・大塚 雅之 さま (大塚実業株式会社)
3. 公益資本主義の実践部門
愛知支部・奥村 雄介 さま (興亜商事株式会社)
4. U25 チャレンジ部門
愛知支部・藪内 龍介 さま (U25/株式会社 Lirem)
5. 公益資本主義の実践部門
東京支部・谷川 宏樹 さま (株式会社アイ・コンサルティング)

その中で最も優れたプレゼンターとして、興亜商事株式会社の代表を務める奥村雄介さん(愛知支部)に「2023 PICC MVP 賞」が贈呈されました。奥村さんは5年ぶりの登壇でしたが、前回に引き続いてのMVP獲得となります。

奥村さんからは、興亜商事で取り組まれているカンボジアにおけるごみ処



理事業について、5年前からの変化、進化についてご紹介いただきました。海外進出という高いハードルに挑戦し、外からはうかがい知れなかった艱難辛苦を乗り越えながら、日本でも、カンボジアでもファミリーのような会社づくりを行い、更なる発展に挑戦されている様子に、審査員からも、観覧者からも、大きな共鳴・共感が集まりました。

「2023 PICC MVP 賞」を受賞された奥村雄介さんより

受賞させていただきありがとうございました。大久保会長、PICC と出会い、アドバイスされたことをひたむきに実践してまいりました。本当に苦しい時に気付いたのは、PICC の活動を通して得られた仲間、いまでもそうですが皆さんが私の一番の力になっているということです。

賞をいただいたことはもちろん嬉しいのですが、本日の大久保会長の講話をお聞きして、「あー、まだまだダメだ」「自分は甘かったな」と決意できたことは、それ以上に頑張る力をいただいたと思っています。大事な社員が、カンボジアにたくさんいます。その社員と一緒に頑張るのですが、実は日本にいる社員も一生懸命頑張ってくれています。日本でも、世界でも公益資本主義を実践して、たくさんの笑顔をつくっていければと思います。皆さん、これからもよろしく願いいたします。

また、東京支部には「2023 年度 最優秀支部賞」が贈られています。福岡支部と僅差で競っていましたが、最後の事例発表動画のエントリー数と審査ポイントで逆転した東京支部が4年連続の栄冠を勝ち取りました。

「最優秀支部賞」を受賞された東京支部より

大塚支部長：今回、四連覇をさせていただきましたが、毎回言っている通り、私一人の力なんてほとんどありません。今日も参加してくれているみんなが協力してくれてのことです。

自分ができない細かい事務連絡、会員の交流の企画運営、企業間の取り持ちやサポートを東京支部の仲間が、私に代わって行ってってくれています。また、時には会社の悩みを聞いて、アドバイスをしてくれる頼れる仲間もいます。いてくれるだけで場を和ませてくれる、そんな仲間もいます。みんなが協力しながら、お困りごとをお互いに解決しながら、時には厳しいことも言い合える仲間であることがとても重要だと思います。

加えて、東京という地の利も大きいと思っています。他の支部の皆さんが、何か事あるごとに駆けつけていただき、活気づけていただけることが非常に多く、皆で学ん



で、皆と一緒に頑張っていこうという意識が自然と高まるからです。東京だけでなく、全国のPICC会員の皆さんと一緒に協力してこられたおかげです。本当にありがとうございました。

PICC「王道経営」実践道場/全国定例会

2023年は前年に引き続き、PICC最上位目的として「王道経営を学び、実践する、いい会社を増やす」と決めました。「王道経営」とは、強く、正しい、企業経営の在り方。PICC会員企業が目指すべき企業像です。



この「王道経営」を学んでいただくための新たな場として「王道経営」実践道場を2022年から新設し、2023年も継続して開催しました。PICC会員企業であれば、経営者はもちろん、幹部や社員、U25会員も参加可能としています。

PICCでは、これまでの活動や学びを通じて、「王道経営」実践のために重要な7つの要素を抽出いたしました。「王道経営」実践道場では、この7つの要素から毎回1つに注目し、大久保会長から直接、その要諦を解説すると同時に、実践事例を紹介しております。

- 2022年3月15日（火）13-17時 「王道経営」実践道場① はじめに
⇒ 「王道経営」実践道場の概要や予定について案内しました。



実践道場で学ぶ「王道経営7つの柱」について

「王道経営」実践のベースとなっている7つの柱

・PICCで学び、実践してきた、企業経営者の正しい在り方

- ① 「社会性」
- ↓
- ② 「独自性」
- ↓
- ③ 「経済性」の優先順で考え、
- ⑦ 「魂の決断」を下す = 全てに通じる鍵



- ・原最高顧問が唱える「公益資本主義」の三本の矢
- ④ 「公平性」
 - ⑤ 「継続性」
 - ⑥ 「改善性」

- 2022年4月28日(木) 16-18時 「王道経営」実践道場① 社会性
⇒ 企業は本来、提供する商品・サービスで社会が抱える問題点を解決するために存在している。また、雇用や納税等さまざまなかたちで貢献する「社会の公器」であることについて、事例を交えて学びました。

- 2022年6月21日(火) 16-18時 「王道経営」実践道場② 独自性
⇒ 誰もやらないからこそ挑戦する勇気が、会社の独自性となり、商品・サービスの差別化要因となることについて、事例を交えて学びました。

- 2022年8月23日(火) 16-18時 「王道経営」実践道場③ 経済性
⇒ 事業は社会性、独自性があることを前提に、経済合理性も併せ持ち、継続していけるものでなければならない。また、CRMの成功事例や経済性をより高めるために実践すべきポイントについても学びました。

- 2022年10月18日(火) 14-16時 「王道経営」実践道場④ 公平性
⇒ 利益は株主だけではなく、会社を支える社中に公平に分配すること。こうした取り組みを広げていくことで、社会の格差を是正し、層の厚い中間層をつくっていかなければならない。この考えを実践し、「いい会社」と評価されている会社の実践事例を交えて学びました。

- 2022年12月20日(火) 14-16時 「王道経営」実践道場⑤ 継続性
⇒ 会社の持続的成長を支えるためには、中長期的な投資を行うことが不可欠。経営陣は、目先の利益を求めただけでなく、中長期的な課題にもバランスよく取り組む視点を持たなければならない。そのために大切なポイントについて、長寿企業の取り組みや理念を参考に学びました。

- 2023年2月21日(火) 14-16時 「王道経営」実践道場⑥ 改善性
⇒ 経営者は企業家精神を忘れてはいけない。常に改良改善に努め、リスクを取って新しい事業にも挑戦すること。このための正しい企業の在り方について、多様な実践事例を確認しながら学びました。

- 2023年4月10日(月) 14-16時 「王道経営」実践道場⑦ 魂の決断
⇒ 経営者は体の決断、心の決断ではなく、善・悪や正・否で「魂の決断」を下さなければなりません。日々決断を迫られる経営者に成功する決断をするためのポイントについて学ぶと共に、この道場の総括を行いました。

また、隔月で開催していた「王道経営」道場が終了した後も、隔月で全国の会員がオンラインで集まり、共に学び、交流し、実践活動をより活発化していくための情報共有の場として「PICC 全国定例会」を開催しております。

●2023年6月20日（火）14-16時 「経営者は教育者たれ！」

⇒ 「経営者は教育者たれ」をテーマに、自社で独自の社員教育に取り組んでいる会員企業3社の経営者に登壇してもらい、各社の考え方や取り組み事例について発表いただきました。また、大久保会長を交え、教育や採用をテーマとしたパネルディスカッションも行っており、参加企業は明日から生かせるヒントを持ち帰りました。

●2023年8月22日（火）14-16時 「経営者は教育者たれ！」

⇒ 「いい会社」をテーマに新入会員研修会参加企業による「いい会社」のロールモデル発表、「いい会社ツアー」参加企業によるツアーでの学びの共有を行いました。それぞれ大久保会長を交えたディスカッションも行っており、いろいろな視点から「いい会社」を考えるヒントになりました。

●2023年12月19日（火）14-16時 「これから対応すべき環境変化」

⇒ 新しい年を迎えるにあたり、「これから対応すべき環境変化」をテーマに各地域の会員企業より、自社の業界等で話題になっている変化やその対応の方向性等について、情報提供していただきました。また、大久保会長からも環境変化に対応するための指針として「Future Transformation」をテーマに講話がありました。



PICCツアー

新型コロナウイルスの感染拡大が発生して以降、Zoomを活用した新しい学びのスタイルに切り替えて対応しておりました。全国の会員がひと時に、交通費や会場費をかけずに学ぶことができるようになったことは大きなメリットですが、どうしても学びが身体に残りにくい面は課題でした。そこで2022年中盤から、PICCの仲間と共に、さまざまな現場・現物・現実を確認することで、人としての在り方や在るべき未来について深く考えるための機会にさせていただくべく、新たな学びの機会づくりに取り組みました。

2023年度も以下のツアーを実施しております。

●「いい会社ツアー」

PICCでは年度の最上位目的として「王道経営を学び、実践する、いい会社を増やす」を掲げ、いろいろなかたちで「いい会社」について学び、自社で実践することに挑戦しています。その一環として2023年6月29日と30日、長野県内で「いい会社」と名高い3社に訪問させていただくツアーを実施いたしました。

1 社目は、長野県諏訪市で日本酒造りをされている宮坂醸造株式会社。『真澄』で知られる同社が、どのようにブランドをつくり、守っていらっしゃるか？

2 社目は、長野県伊那市の菓匠 Shimizu。『夢ケーキ』で知られる同社がどのように地域で人気の洋菓子店をつくり、社会貢献につながると力みを広めていらっしゃるか？

そして3社目は、長野県伊那市の伊那食品工業です。多くの企業経営者がロールモデルとして挙げる同社がどのように会社を成長させ、社員の幸せを実現しているのか？

各社の経営トップから、直接お話を伺う貴重な機会となりました。

1. 宮坂醸造株式会社 宮坂 直孝 社長 講話より

我々中小企業にはブランド作りが大切です。ブランドがあれば、売上に困らず、優れた人材が集まり、良い取引先と出会えます。では、どうすれば高いブランド力を保てるか。私は、社長が夢を持ち、会社全体の夢にまで発展させ、社員一丸となって面倒でも着実に目前のことを積み上げていくことしかないのではと感じています。

我々も蔵元『真澄』というブランドを一流にすべく精進しています。今回は当社のブランドの元となる私の4つの夢と、実現のために実践していることをお伝えします。

一つ目の夢は、「上質な真澄を最適な状態でお客様へ」お届けする。作り手である我々が心から美味しいと思い、家族に安心して勧められ、仲の良い友人に胸を張って贈れるような酒を作るために、我々は基本品質の向上、コンセプトの明確化、販売品質の見直しを実践しています。

二つ目の夢は、「真澄でお客様の食卓を和やかに」する。幸福の原点は、和やかな食卓です。『真澄』は食卓を和やかにする手段、あくまで食卓の脇役です。トレンドに合わせて味を変えるのか、既存のまま突き進むか、社内で大論争がありましたが、七号系自社株酵母に特化した酒造りへ原点回帰することになりました。すると、売上げは下がるどころか、「飽きないのが良い」と支持してくださるお客様が増えました。

三つ目の夢は、「街に賑わいをもたらす酒蔵に」なる。ドイツのビールメーカーやスコットランドのウイスキー蒸留所など、酒蔵が観光客を集め、経済を潤し、地域に賑わいをもたらしている例は世界にいくつもあります。長野県でも酒造組合が中心となり、地酒とそれを育んだ信州の風土も満喫する「信州 SAKE カントリーツーリズム」が生まれ、飲み歩きクーポンを発行するなど街中観光の盛り上げを図っています。

また、当社でも蔵元ショップセラ真澄を立ち上げ、地元の職人が作ったこだわりの器や食品を揃えることで、酒以外の観光客との接点を増やしています。今後はイベントの開催や、信州食材とのペアリングを楽しめるレストランも作りたいという夢があります。

最後の夢は、「日本酒を世界酒へ」です。豊かな風土と長い年月と先人の知恵が育んだ日本酒の素晴らしさを世界に発信し、世界酒として進化させたいと思っています。以前は残念ながら、「日本酒なんて聞いたことがない」という人が大半でした。そこで、海外人材を雇用し、教育的マーケティングを20年に渡って継続してきた結果、酒蔵に興味を持つ人が増え始め、今では酒蔵見学や体験会などが人気となっています。最近では香港と深圳に会社を設立し、アジア圏の営業拠点を充実させています。

以上が私の4つの夢と実現のための取り組みです。全てが順調な訳ではなく、まだまだ多くの人のお力を借りて努力している真っ最中。今後も皆様とともに成長していきたいと思っていますので、歩みを止めず進んでいきましょう。



2. 菓匠 Shimizu 清水 慎一 社長 講話より

海外での修行後、お店に帰ってすぐに両親やスタッフと対立しました。会社として正しくない状態でしたが、売り上げは倍々ゲームで伸びていたため、慢心していたのだと思います。ただ、ギスギスした雰囲気の中で働くのは楽しくありませんでした。

そんなとき、祖母から「慎一、仕事は楽しいかい?」「働く」とは“傍を楽にする”と書くんだ」「働くことは、労働することや、お金を稼ぐことだけじゃない。自分の近くにいる人たちを楽にしてあげることだ」という言葉をもらいました。

この言葉をきっかけに、私は両親やスタッフを楽にするどころか苦しめてばかりだったことを反省し、変わることを決意しました。一番嫌なことから向き合おうと、父親と毎日

話す時間を設け、創業の思いや両親が大切にしてきたことなど、教えてもらったのです。そこから少しずつ変化が始まり、「菓子創りは夢創り」をモットーに掲げ、私たちがつくるお菓子によって、お菓子の向こう側にある幸せな時間や家族団らんの時間を提供しようと意識が変わっていきました。

「菓子創りは夢創り」をモットーに考えを改めてからは、同じ方向を目指してくれるスタッフが残り、関係性も良い方向に変化しました。お店に入った当初は現場に入って口を出していましたが、今はほとんど何も言いません。その代わりに、朝礼や週礼などの定期的なミーティング、入社時や新人研修のときに「菓匠 Shimizu とはなにか」「我々は何のためにお菓子をつくっていて、目指すパティシエ像は何か」「どういう会社になるのか」といった話をしています。

そこさえ共有すればあとは何をしてもいいと思っているので、とにかくチャレンジしてもらっています。もしうまくいかなかったとしても、うまくいかなかった理由、どうすればうまくいくのかを考えて再チャレンジしよう。このスタンスで、1人ひとりの存在を承認し、傾聴しよう意識して接する以外、社員教育と言えるものは特にありません。

おかげさまで事業の継承をしたいと言ってくれるスタッフも出てきました。今後もし独立したいスタッフが出てきたら、グループ展開をして、少ないリスクで独立できるような手助けをしていきたいです。



3. 伊那食品工業株式会社 塚越 英弘 社長 講話より

企業にとって売上や利益はなくてはならないものですが、それらはいくまでも社員の幸せをつくるための手段であり、結果です。誰だって収入は多い方がいいに決まっているので、当社は社員の収入を毎年必ず上げていくことを約束しています。賞与の支給率はほぼ固定で、基本給が増えれば賞与も増える仕組みです。

こんな話をすると「業績が好調だから可能なのだろう」と言われることもありますが、当社の業績も2020年から3年間はコロナ禍の打撃を受けました。しかし、社員の給与と賞与はその間も増えています。その理由は、全てにおいて「社員が幸せに働けるように

するためにどうしたらいいか」ということを軸に考えているからです。

当社には「いい会社をつくりましょう」という考え方が根底にあります。さらに大事なことは社員が根本的な考え方を理解し、目的を共有することです。同じ方向性を目指して働いてもらうためには、会社の考え方をどのようにして伝え、浸透させるか。「こうすれば必ずうまくいく」という正解はありませんが、そのための取り組みは続けなければなりません。

そのため、当社が大事にしているのは「何でもみんなでやる」ということです。みんなで同じことをすれば上下関係に縛られない横のつながりができます。円滑なコミュニケーションを取りやすい関係性は、圧倒的に横のつながりだからです。会社で伝えたいことも、そういうところからの方がより言葉や理論を越えたところで浸透するのです。

また、目的を明確に伝えることも大切にしています。もちろん、この会社をどうしていくかという目的を浸透させられるのは、相手との信頼関係があってこそ。いくら正論を言ったところで、信頼関係がなければ伝わりません。信頼を得るためには、嘘をつかないことが大事です。

「社員が幸せになることが目的」と言いながら、会社がやっていることが一致しなければ信頼してもらえません。たとえば当社の場合、ビジネスに流されて業績を優先してしまうと、会社の目的の軸がぶれたことが社員に伝わってしまいます。伝えた通りのことをきちんと実行できているかどうかを、常に考えなければなりません。

もちろん、当社の考え方が全て正しいと言うつもりはありませんが、「自分たちのあるべき姿は何なのか」をきちんと考え、そのための取り組みを続けていくことが大事です。会社の最終到達点というものは存在しないので、「昨日より今日、今日より明日」というように少しずつ良くしていく以外にありません。そうすれば、社員たちも常に希望を持てるようになります。人間が幸せであるために一番大切なのは、常に希望を持ち続けられる状態でいられることです。



以上、ツアーで伺ったお話からの抜粋です。詳細はPICC ホームページに掲載していますので、興味のある方はそちらもご覧ください。

「PICC いい会社ツアー」REPORT 宮坂醸造株式会社 様

https://picc.or.jp/news/area0/2023tour_miyasakasyuzou.html

「PICC いい会社ツアー」REPORT 株式会社菓匠 Shimizu 様

https://picc.or.jp/news/area0/2023tour_kashoushimizu.html

「PICC いい会社ツアー」REPORT 伊那食品工業株式会社 様

https://picc.or.jp/news/area0/2023tour_inashokuhin.html

メディアへのコラム提供

会の名前として冠する「公益資本主義」という言葉は、残念ながらまだまだ一般的には認知されていません。PR 活動の一環として理事に公益資本主義の考え方を反映させたコラムを執筆してもらい、メディア向けに提供しております。

田中勇一 副会長

2023/1/24	本部	日経産業新聞「ワード FOCUS」サステナビリティ選好など
2023/2/1	本部	日経産業新聞「Smart Times」マッチアップ 松田修 氏
2023/4/7	本部	日経産業新聞「Smart Times」アスバシ 毛受芳高 氏
2023/5/2	本部	日経産業新聞「ワード FOCUS」センシユアシティなど
2023/5/26	本部	日経産業新聞「Smart Times」ツレテコ 北島詩乃 氏
2023/6/30	本部	日経産業新聞「Smart Times」INTEP 川上途行 氏
2023/7/21	本部	日経産業新聞「Smart Times」アイ・コンサルティング 谷川宏樹 氏
2023/8/15	本部	日経産業新聞「ニュース CHECK」人的資本
2023/9/1	本部	日経産業新聞「Smart Times」Alphakt 広瀬祥平 氏
2023/10/11	本部	日経産業新聞「Smart Times」アーニスト 内山大輔 氏
2023/12/1	本部	日経産業新聞「Smart Times」TASUKI 山内一成 氏

前川洋一郎 理事、PICC 東京支部 100 年企業研究委員会

2023/1/31	日経産業新聞「長寿企業の研究」ヤマサン醤油
2023/2/28	日経産業新聞「長寿企業の研究」亀や
2023/3/28	日経産業新聞「長寿企業の研究」西村眼鏡店
2023/5/16	日経産業新聞「長寿企業の研究」平岡珈琲店
2023/5/30	日経産業新聞「長寿企業の研究」荘司調髪所
2023/6/27	日経産業新聞「長寿企業の研究」バー・サンボア
2023/7/25	日経産業新聞「長寿企業の研究」鷹岡

2023/8/29	日経産業新聞「長寿企業の研究」マテックス
2023/9/26	日経産業新聞「長寿企業の研究」龍名館
2023/10/31	日経産業新聞「長寿企業の研究」カネダ
2023/11/28	日経産業新聞「長寿企業の研究」岡永
2023/12/19	日経産業新聞「長寿企業の研究」マルアイ

マイコミュニティフォーラム



2016年12月から始めた「マイコミュニティフォーラム」もPICC全国支部の取り組みとして定着しました。代表世話人としてNEWS ZEROのメインキャスターを務めていた村尾 信尚 氏に、また田中副会長を中心にPICC役員にもご協力いただきながら、日本各地で若者に気付きを与えるためのフォーラムを開催しています。

2023年12月までに全国7都市で27回開催し、4,542名の方に参加いただいております。

マイコミュニティフォーラムの目的は、若者の地域に対する意識のスイッチを“オフ”から“オン”にすること。自分たちの力で「国や未来は変えることができるんだ」ということに気付いてもらうため、まずは自分が住んでいる地域でどんな取り組みが行われているか、目を向けてもらい、私の社会のために何かできること、参加してみたいと思えることを見つけてもらうためのヒントを提供したい、そんな思いで企画・運営しております。

各地域のPICC会員が中心となり、近隣の学校、学生、経営者、NPO、企業、議員等と協力しながら、様々なテーマ・プログラムを提供してまいりました。

はじめに村尾信尚氏から『私の社会をつくるための2つの券』をテーマに、「私たちは社会を変える2つの券、投票券と日本銀行券を持っている」ということを平易に解説。その後は参加する若者のニーズに合わせパネルディスカッションや講演等が行われるのが、基本のフォーマットになっています。近年は、一方的に聞くだけではなく、聴衆も一緒に参

加できるワークショップ型の取り組みが採用されたり、学生が自らの活動を発表するプレゼンテーション大会が行われたり、回を重ねるごとに各地域で趣向を凝らしたフォーラムへと進化を遂げてきました。

【2023 年の開催実績】

① 第26回マイコミュニティフォーラム in 福島

2023年10月8日(日) 11:00~17:00

場所：なかまち夢通り

テーマ：ぼくらの音楽祭 in なかまち夢通り ～スタンドアップ! もっとピュアになろう!～

参加者：400名



② 第27回マイコミュニティフォーラム in 愛知

2023年11月19日(日) 13:00~18:30

場所：東別院会館ホール 3F

テーマ：東海学生 AWARD 2023 ～限界、社会、正論 こえていけ。～

参加者：300人以上



U25会員／準会員について

U25 会員は、25 歳未満の若者が PICC の活動に参加できるよう、設けられた会員制度です。各地で年 1 回開催するマイコミュニティフォーラムだけではその場限りの気付きで終わってしまうため、PICC の活動に参加してもらいながら継続フォローできるように 2018 年から設けました。

PICC が U25 育成に取り組む理由は、これから地球の未来を担う若者に「公益資本主義」を伝え、継承してもらうためです。

PICC 会員企業は、公益資本主義を学び、それを自社で実践し、社会に広げていくことを使命としています。その対象は、一番はまだ公益資本主義を知らない、実践できていない経営者ですが、本当の意味で公益資本主義を広げるには、企業を選ぶ側、自身が働く企業を選定する学生、商品・サービスを選ぶ顧客にもこの考え方を知らしてもらい、公益資本主義的視点で企業を選別してもらい厚くしていくことが、将来的にみても重要であると考えています。

若者に PICC 活動に参加してもらうことで、これから社会に出ていく前に知っておくべき、気付いておくべき考え方や視座を提供し、社会で自信をもって活躍できる人材を輩出することを目指しています。

また、U25 会員が誕生日を迎え、卒業していくケースが増えてきました。社会人となり、それぞれの道を歩み始める一方、「継続して PICC で学びたい」「共に活動したい」というニーズに応えるため、2023 年から U25 会員卒業者が移行できる「準会員」を新たに設けました。2023 年は 4 名が準会員へと移行しています。

U25・若者向けの活動

2023/1/7	福岡	教育ワークショップ「社会人になるには」
2023/1/23	愛知	MYCO 東海学生 AWARD 第 6 期発足
2023/3/18	福岡	教育ワークショップ「リーダーシップ/プロジェクトの効率的な進め方」
2023/4/1	福岡	福岡大学ベンチャー起業論向け「リーダーシップ研修」(飯田剛也 支部長)
2023/4/3	愛知	MYCO 東海学生 AWARD 実行委員会
2023/6/3	福岡	U25 ワークショップ「リーダーシップについて」
2023/7/1	福岡	U25 ワークショップ「コミュニケーション」
2023/8/5	福岡	U25 ワークショップ「話の聞き方」
2023/8/11	福岡	U25 会
2023/8/18	福島	ほくらの音楽祭懇親 BBQ (国際ビジネス公務員大学校)
2023/9/25	福岡	役員会・定例会 (U25 会員主催)
2023/9/30	愛知	MYCO 東海学生 AWARD キックオフ合宿
2023/10/2	愛知	MYCO 東海学生 AWARD と TONGALI の連携
2023/10/7	福岡	U25 ワークショップ「相手に YES と言わせる交渉術」
2023/10/8	福島	ほくらの音楽祭
2023/10/13	福島	僕らの音楽祭 打ち上げ
2023/11/5	愛知	MYCO 東海学生 AWARD 選考会

2023/11/19	愛知	MYCO 東海学生 AWARD
2023/12/2	福岡	U25 ワークショップ「話のボキャブラリーの増やし方」
2023/12/16	愛知	東海学生 AFTER AWARD

8. 2024年度のテーマ

PICC もいよいよ創設 10 周年を迎えました。毎年スモールステップで活動を強化してまいりましたが、当初の構想通りできていない部分もあります。この節目に改めて「PICC が本質的に目指すものはなにか?」「企業経営者の本質的な在り方は?」を見つめ直し、会としての体制や取り組みを強化していく計画です。

2024 年 PICC テーマ

「本質を追求し、ぶれない強い経営者となる」

2024 年度の最上位目的は、「本質を追求し、ぶれない強い経営者となる」とし、以下 3 点を重点課題として取り組んでまいります。

- ① 強い経営者となる意識があり、実際に動ける会員による団結
- ② 本質を学び、考えるための場・仕組みをつくる
- ③ そのために最適な組織・会員制度・情報伝達手段への移行

PICC 2023 年度活動報告書

2024 年 3 月 29 日 発行

著 者 一般社団法人公益資本主義推進協議会

発行元 一般社団法人公益資本主義推進協議会 組織運営本部事務局

〒150-0001

東京都渋谷区神宮前 5-52-2 青山オーバルビル 14 階

電話 03-6826-1234

本書の内容の一部または全部を無断複写、複製、転載することを禁じます。